

## 米国ワシントン州 ベトナムとの貿易を強化

[ASIAFRUIT 2024年4月11日](#)

### ワシントン州農業局が農業開発強化と農産物貿易促進のための覚書をベトナムと締結

ワシントン州のリンゴとサクランボの業界代表者らは、貿易関係を強化するためにベトナムを訪問した代表団に参加した。4月8日に始まったベトナムへの貿易使節団の訪問の中で、ワシントン州農業局(WSDA)のデレク・サンディソン局長は、ベトナムのホアン・トゥルン農業農村開発副大臣とともに覚書(MOU)に署名した。

覚書の締結により、ベトナムと同農業局は、農業開発の強化と農産物貿易の促進に協力することで合意した。貿易使節団は、ビジネス関係の拡大、ワシントン州産の食品農産物の宣伝、及びベトナム市場でのチャンスについて詳細を学ぶことに力を入れた。

代表団には、マイケル・フォン商務局長、デレク・サンディソン農業局長、デビッド・シューマツハ財務管理局长、州上院議員のジョー・グエン氏とジューン・ロビンソン氏、州下院議員のマイリン・タイ氏とステイブ・タリンガー氏が参加した。

ベトナムは、農産物を含めると2023年にワシントン州にとって5番目に大きな輸出市場であり、去年はワシントン州のリンゴ輸出だけで5,700万米ドルに達した。

貿易使節団の活動は、ベトナムの指導者との会談、様々な製造施設やイノベーションセンターの視察、文化・高等教育の指導者との会合、ビジネスネットワークキングや製品の販売促進イベントなどへの参加であった。日程の多くは、農業を含む先端技術部門における貿易と協力の機会を強化することに焦点を当てていた。

執筆者: ブリー・カジャティ

## スペインであふれかえるエジプト産オレンジ

[FreshPlaza 2024年4月12日](#)

アンダルシア州の柑橘類生産者らは、エジプトからのオレンジ輸入の影響を懸念している。イスラエルとガザの紛争は事態を悪化させ、従来は中国、トルコ、アラブ諸国に向けられていたエジプトの輸出品が、今や欧州連合(EU)市場に向けられている。

セビリア市青年農業者協会(アサハ・セビリア)によると、この輸出先の変更はオレンジ市場、特に過去20日間で半値になった果汁用のオレンジの価格に悪影響を及ぼした。同協会のリカルド・セッラ会長は、エジプト産オレンジの大量流入により、価格が下落し、国内生産の崩壊をもたらしたと述べた。

ここ数カ月の抗議活動における柑橘類生産者の要求の1つは、消費者が購入時に十分な情報を得られるように、ジュースのラベルにオレンジの原産地の表示を義務付けることである。セッラ氏によると、エジプト産のオレンジは価格が安いためにヨーロッパ市場に入り込み、業界はこの果実を大量に購入するようになった。

EU諸国によるエジプト産柑橘類の輸入は、近年急激に増加している。農水産食料省のデータによると、輸入量は2014年1月～10月の12万2,547トンから、2023年の同時期には48万7,927トン(前年比+109%)に増加した。これらの輸入額も5,660万ユーロから2億8,850万ユーロ(同+114%以上)へと大幅に増加した。

今月、コルドバ市の青年農業者協会は、市内のパルマ・デル・リオ地区で生産されたことを示唆するラベルが貼られたエジプト産オレンジの販売について、農業省と食品情報管理庁(AICA)に苦情を申し立てた。同協会は、目を引くように「国産オレンジ」「原産地保証」と書かれ、果実の実際の原産地が細かな字でしか記載されていないラベルによって消費者が惑わされたと強調し、こうした不正に対する手続きの開始を要求した。

出典: [laprovincia.es](http://laprovincia.es)